



(善通寺五重塔)



(後樂園から烏城を望む)

(何れも平成 18 年 5 月 31 日山下撮影)

第一生命の防衛庁総括顧問としての小生にとって、5 月から 6 月は結構多忙である。全国各ブロックで行われる防衛庁担当者研修に可能な限り参加し、各部隊の記念日にも参加しているからである。

概要次の通りである。大阪での研修その翌日には北海道に飛び部隊訪問と研修会参加、夜は私的会合であるけれども俱知安会があり、土曜日に帰宅、その次の週には博多、金沢そして仙台での研修会であった。東京～博多(泊)～金沢(泊)～東京と飛行機移、動東京から新幹線に乗り継いで仙台での研修(泊)そして帰宅と言う状況であった。土日には部隊記念日が目白押しである。5 連続記念日参加で土日が完全に潰れる。昨日は最後の研修会が岡山で開催され、その機会にと善通寺の部隊訪問となった。従って、東京から岡山空港に飛び連絡バスにて支社に前進、研修会参加、翌朝に特急にて善通寺に向かい新編旅団を訪問、表敬訪問後特急と新幹線を乗り継いで帰宅と言う次第である。

このようなハードスケジュール、若い時にはさしたる苦痛に感じることもなかったけれども、還暦を過ぎた身には流石に堪える。長距離を移動するということだけで疲れが倍加する。

然し、一方楽しみが無い訳ではない。行く先々で時間を見つけては名所旧跡を尋ねることが出来るからである。朝早く起き出して散歩したり、仕事が終了後に街中を徘徊すると色々と面白いものに遭遇し、新鮮な驚きを感じることも少なくない。

例えば、札幌であれば、時計台は言うに及ばず、旧道庁赤レンガ館、大通りの端から端まで歩くとまた珍しい銅像や花や施設に出会う。仙台では少々遠かったが青葉城まで足を延ばしてみた。大阪では造幣局、中ノ島公会堂、旧日銀大阪支店や近傍の神社仏閣、名古屋では TV 塔、名古屋城、徳川美術館、そして福岡は黒田家菩提寺や山笠飾りが奉納されている神社、金沢は兼六園や金沢城、香林坊等である。

今週は、岡山であったが、朝早く後樂園に出掛けた。夏場の開園が 0730 とのことで 30 分以上待たねばならなかったが、その間に後樂園外周を一周、開園と同時に入場した。この時期の後樂園もまた良いものだし、何と云っても朝早いので気持ちいいことこの上なしである。岡山城別名烏城をも訪れたが、入場は早過ぎて無理であった。

午後の早い時間に表敬がセッティングされていたので、それまでの時間を部隊近くの善通寺を訪ねた。空海こと弘法大師生誕の地である善通寺は今年が創建 1200 年であるとかで、1200 年祭が行われており、滅多にない機会に遭遇できた。有名な五重の大塔は、4 度目の再建であるらしいが、五智如来が安置されており、またこの塔は非常に珍しい五重塔の中心を貫く心柱が礎石から 6 センチほど浮いている懸垂工法を採用しており、現代版免震工法である。日本の木造建築技術は素晴らしい。

家内や子供達に写メールでその都度写真を送付しているが、娘曰く「優雅な出張だね」と。

朝早くや夕方の寸暇を惜しんでの、これら名所等の探訪の問題点は入場時間外である可能性が高いということと、ゆっくり見て廻る時間的余裕がないと言う事である。然しながら、また何れかの機会に訪れることもあろう。その為の事前偵察と考えれば良いではないか。正に、社用出張の有効活用である。一回で全てを廻れるものでもないので、その都度目的を明確にしてもっと多くの場所を探訪したいものである。まだまだ知らない所があるはずだ。今までは超有名な場所が主体であったが、これからは知られざる名所を見つけてみたいものである。

(了)